



市民の願いにこころ寄せて議員活動に全力
日本共産党 京都市議員

西村 よしみ

2018年 11月4日(日)

議員活動報告 NO. 299号

○西村事務所 右京区梅津高畝町 39

TEL, FAX 872-9653

○自宅 右京区梅津東構口町 17-405

TEL, FAX 864-2009

決算市会市長総括質疑



9月定例会は主に昨年度決算が中心の議会ですが、今年は、地震、豪雨、台風など災害が続ぎ、復旧と防災対策の課題が大きな議論となりました(9月市会定例会は9月19日から37日間開催し10月25日で終了)。

10月17日、「市長総括質疑」があり、西村市議は災害対策の強化、農林業・中小企業支援などについて質しました(右、写真)。

災害対策については、農業用パイプハウスの損壊や水路等の被害が大きいことから、支援を高めることを求めました。また、台風21号の強風で森林の倒木が大規模に広がり深刻な事態となっていることから、従来の延長線でない支援策強化を強く求めました。

更に、市内中小企業・小規模事業者の支援のため中小企業振興基本条例の制定を求めました。

西村市議が定例会会で取り上げた主な内容

- 中小企業支援強化。賃金・雇用対策
- 市バスの運賃均一区間の拡大
- 農林業支援
- 災害防災対策
- 地下鉄安全ホームドア設置など。

「ブロック塀除去」に補助

ブロック塀等の除却工事の費用に対する「危険ブロック塀」助成制度

6月18日に発生した大阪府北部地震を機に、ブロック塀の安全性が社会問題化する中、地震に対する取組を支援するため、ブロック塀等の除却工事に要する費用の一部を助成。

受付は平成30年7月13日(金)曜日～平成31年3月1日(金)曜日まで。予算がなくなつた場合は受付を終了することがあります。問い合わせ先、京都市役所北庁舎2階、「ブロック塀等支援窓口」電話075-1222-1360



議会開会日に党市議団で街頭宣伝。

地震で学校のブロックが倒れて生徒が犠牲となる痛ましいことがありました。京都市内の学校等の危険ブロック塀の撤去が始まっています。西村市議は議会で「危険な塀の早期撤去」を求めました。



市有料ごみ袋・環境学習会

9月29日、西院学区で「京都市指定ごみ袋学習会」『ごみ袋から市政を考える』と題して、住民の勉強会が開かれ、西村市議が講師としてお話をしました。

日頃、何気なく使用している京都市有料指定ごみ袋。なぜ有料になったのか、京都市のゴミ・環境行政をテーマにした地域の勉強会です。

西村市議から、京都市がごみ袋を有料にした経過やごみ減量施策の取組み、その背景などについて話しをしました。その後に、意見交換会。ごみ問題は、身近で素朴な意見が多いです。沢山の意見が出され、一つ一つ丁寧に話しました。



市の就学援助制度について

京都市では、平成31年度の就学援助制度(入学前新規)の募集をしています(入学前新規は11月22日まで)に学校へ書類持参。

同制度は、「新入学学用品費」の支給が入学前に支給されるよう改善されました。

この制度は、市立小・中学校へ就学するにあたり経済的な理由により、お困りの保護者に対し、学用品、給食費等を援助する制度です。対象となる要件や必要書類があります。

制度の概要について問い合わせ先 京都いつでもコール ☎661-3755



京北官制の運動会で「丸太切り競争」